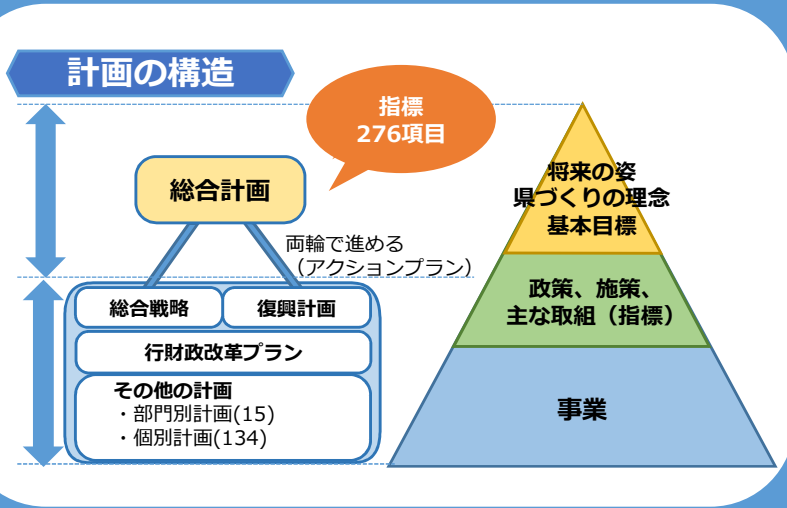


福島県では、総合計画を県政運営の中核に据え、まずは職員の意識改革と行動変容に取り組み、進行管理による計画のブラッシュアップを図ります。計画の認知度向上や、SDGsを入口とした連携・協働の場の創出により、共感の輪を広げ、計画に描く2030年度の将来の姿の実現に向け、県民の皆さん、民間団体、企業、市町村、県など、あらゆる主体が連携した県づくりを推進してまいります。

## 福島県総合計画 (2022▶2030)



## ふくしまの将来の姿の実現に向けて

### 「共感」から「行動」へ 県づくりの“自分事化”の推進

#### ① 総合計画等理解促進事業

幅広い世代と様々な分野の方々に、総合計画を知って、触れて、考えてもらう機会(場)を創出

- 総合計画出前講座
- SDGs出前講座
- 課題を抱える現場の見学 など



内堀知事による出前講座

#### ② SDGs推進事業



県民の関心が高いSDGsを入口(きっかけ)とした異業種間(産学官共金労言)の連携・協働を活性化するための機会(場)を創出

#### ○SDGs推進プラットフォーム

- ・会員のイベント・取組の共有
- ・顕彰制度による会員の活動の後押し
- ・会員間のマッチング支援
- ・分科会(勉強会)設置による相互連携 など

ひろがる!



つながる!



まなべる!



#### 市町村支援プログラム

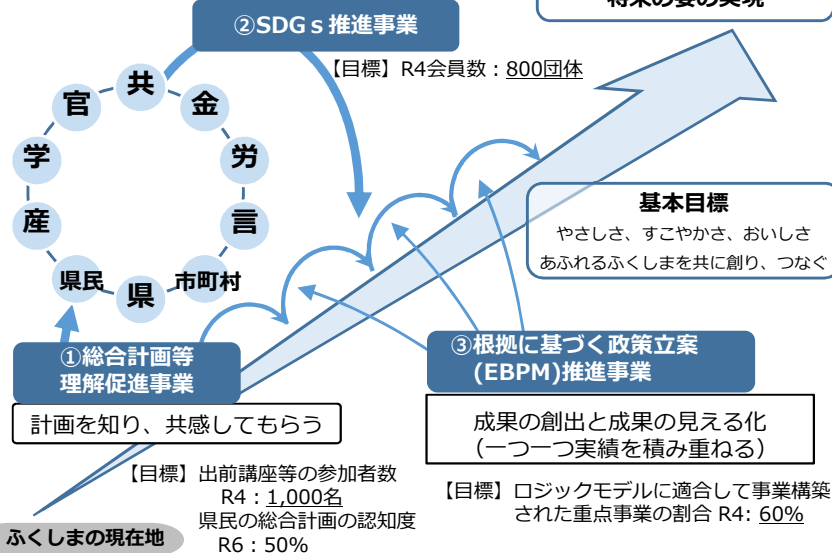
#### ○総合計画策定支援

総合計画策定のプロセス(対話の場の創出、指標の磨き上げ等)を市町村に共有し、ノウハウを横展開することで、市町村における総合計画の策定を支援する。

令和4年度実施予定  
・2団体(1市1村)

SDGsをきっかけとして、あらゆる主体との「連携・協働」による県づくり・地域づくりを推進

令和12(2030)年度の将来の姿の実現



## 予算への反映・事業の実施

PDCA

- ・重点プロジェクトの展開
- ・進行管理結果を踏まえた適時・適切な事業見直し

#### ③根拠に基づく政策立案(EBPM)推進事業

復興・創生の事業の効果の説明に実効性を持たせ、県民に復興を実感してもらうため、本県が抱える課題を定量的に補足・分析するとともにデータに基づく事業構築を行うモデルを創出

事業構築の一連のロジックを検証・提案

不足しているデータの追加・収集

PDCAマネジメントサイクル

## 計画の進行管理

PDCA

#### 自己評価

- ・指標の達成状況の把握
- ・年度毎の目標値設定
- ・職員の意識改革と行動変容(職員数: 約6,000人※知事部局)

#### 第三者評価

- ・総合計画審議会
- ・地域懇談会
- ・県政世論調査など

施策の進捗状況のきめ細かな発信(成果の見える化)

目指す将来の姿の共有